

地域リハビリテーション学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Iso N, Ooso S, Yamamoto N, Moriuchi T, Sagari A, Iso F, Tanaka K, Tabira T, Higashi T: Effect of mental practice using inverse video of the unaffected upper limb in a subject with chronic hemiparesis after stroke. *J Phys Ther Sci* 28(10): 2984-2987, 2016
2. Suzuki T, Hiraishi M, Sugawara K, Higashi T: Development of a smartphone application to measure reaction times during walking. *Gait Posture* 50: 217-222, 2016 (IF: 2.286)
3. Sugawara K, Tanabe S, Suzuki T, Higashi T: Effect of neuromuscular electrical stimulation on motor cortex excitability upon release of tonic muscle contraction. *Somatosens Mot Res* 33(3-4): 161-168, 2016 (IF: 0.778)
4. Kitajima E, Moriuchi T, Iso N, Sagari A, Kikuchi Y, Higashi T: Actual use of and satisfaction associated with rollators and "shopping carts" among frail elderly Japanese people using day-service facilities. *Disabil Rehabil Assist Technol* 1-7, 2016
5. Suzuki T, Sugawara K, Ogahara K, Higashi T: Time course of corticospinal excitability and intracortical inhibition just before muscle relaxation. *Front Hum Neurosci* (<http://journal.frontiersin.org/journal/human-neuroscience>) 10: 1, 2016 (IF: 3.634)
6. Iso N, Moriuchi T, Sagari A, Kitajima E, Iso F, Tanaka K, Kikuchi Y, Tabira T, Higashi T: Monitoring Local Regional Hemodynamic Signal Changes during Motor Execution and Motor Imagery Using Near-Infrared Spectroscopy. *Front Physiol* (<http://journal.frontiersin.org/journal/physiology>) 6: 416, 2016 (IF: 4.031)
7. Sugawara K, Tanabe S, Suzuki T, Saitoh K, Higashi T: Modification of motor cortex excitability during muscle relaxation in motor learning. *Behav Brain Res* 296: 78-84, 2016 (IF: 3.002)
8. Honda A, Date Y, Abe Y, Aoyagi K, Honda S: Communication, support and psychosocial work environment affecting psychological distress among working women aged 20 to 39 years in Japan. *Ind Health* 54(1): 5-13, 2016 (IF: 1.057)
9. Tanaka T, Tanaka K, Suyama K, Honda S, Senjyu H, Koza R: A comparison of objective physical activity, muscle strength, and depression among community-dwelling older women living in sloped versus non-sloped environments. *J Nutr Health Aging* 20(5): 520-4, 2016 (IF: 3.199)
10. Nishida A, Abiru H, Hayashi H, Uetani M, Matsumoto K, Tsuchiya T, Yamasaki N, Nagayasu T, Hayashi T, Kinoshita N, Honda S, Ashizawa K: Clinicoradiological outcomes of 33 cases of surgically resected pulmonary pleomorphic carcinoma: correlation with prognostic indicators. *Eur Radiol* 26(1): 25-31, 2016 (IF: 3.640)

B 邦文

B-a

1. 古後晴基, 村田潤, 東登志夫, 村田伸, 鳥山海樹, 山下裕, 今村純平: 浮腫における圧痕深度計測法の妥当性および圧痕性浮腫の判別. *ヘルスプロモーション理学療法研究* 6(1): 29-33, 2016
2. 西田隆宏, 川崎涼子, 西原三佳, 本田純久: 地域在住の二次予防プログラム参加者における運動機能と認知機能の変化. *保健学研究* 28: 77-83, 2016
3. 濱田由香里, 中尾理恵子, 大西真由美: 長崎県における薬局 DOTS 実施可能性の検討. *日本公衆衛生雑誌* 63(5):260-268, 2016
4. 西原三佳, 大西真由美, 中村安秀: 岩手県陸前高田市未来図会議が果たしてきた役割: 災害対応計画へのモデルとして. *日本公衆衛生雑誌* 63(2): 55-67, 2016
5. Nishihara M, Ohnishi M, Kazama H, Ajiwala M, Atieno OL, Owuor GG, Kit A, Higashi T, Matsusaka N: Perspectives of community health workers and women's leaders regarding people with disabilities and their recognition of their roles and functions in rural Kenya. *Health Science Research* 28:47-53, 2016

B-b

1. 前田俊輔, 本田歩美, 伊達 豊, 本田純久. 在宅療養支援シリーズ 当法人における ICT を活用した在宅療養支援の経緯と展望. *日本慢性期医療協会誌* 23(6): 52-55, 2016

B-c

1. 大西真由美: 3 章 国際保健医療で働く. (国際保健医療学会 (編) : 国際保健医療のキャリアナビ, 南山堂, 東京, pp.181-189 所収) 2016
2. 西原三佳: 回り道にも良さはある 遠回りの国際保健への道. (国際保健医療学会 (編) : 国際保健医療のキャリアナビ, 南山堂, 東京, pp.74-78 所収) 2016

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	0	0	0	0

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
東登志夫・教授	理事	日本作業療法研究学会
東登志夫・教授	学術誌編集委員会委員長	日本作業療法研究学会
東登志夫・教授	学術委員会委員	日本作業療法士協会
東登志夫・教授	学術誌編集委員会編集委員	日本作業療法士協会
本田純久・教授	健康ながさき 21 調査検討小委員会委員	長崎県
本田純久・教授	評議員	日本公衆衛生学会
本田純久・教授	評議員	日本民族衛生学会
大西真由美・教授	評議員	日本公衆衛生学会
大西真由美・教授	理事	日本国際保健医療学会
大西真由美・教授	理事	特定非営利活動法人健康都市推進会議
大西真由美・教授	長崎県「保健事業支援・評価委員会」委員	長崎県国民健康保険団体連合会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
東登志夫・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) KINECT を活用した新しい上肢機能評価・訓練システムの有用性の検討
東登志夫・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 日常生活における麻痺手の使用を促すための行動変容システムの開発研究
東登志夫・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 高齢者施設における歩行補助具の使用実態と満足度に関する調査研究
東登志夫・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(B) 筋活動入力で多自由度指運動が可能な電動グローブの開発と脳卒中リハビリでの効果検証
東登志夫・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) センサペグボードの開発と有用性の検討
本田純久・教授	国立がん研究センター	分担	がん研究開発費 共同研究グループのデータセンター間の連携によるがん治療開発研究の効率化と質的向上のための研究
本田純久・教授	公益財団法人九州先端科学技術研究所	分担	中小企業経営支援等対策費補助金(戦略的基盤技術高度化支援事業) 高齢者の特性に合わせた独自のロジックを持つ学習型人工知能を搭載した自動鑑別診断システムの開発

大西真由美・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究 社会的不利環境下にある銅山労働者の自主 的安全・保健予防行動の促進要因
大西真由美・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費補助金基金・基盤研究 C 倫理的課題・ジレンマに対応する保健医療人 材育成のための基盤的研究
大西真由美・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費補助金基金・基盤研究 C 日本人留学生の海外における性行動とその 関連要因に関する研究
大西真由美・教授	公益財団法人かんぼ財団調査研究 助成	代表	少子社会における大学生の性意識と性行動
本田純久・教授	医療法人 芙蓉会		テレケア遠隔健康システムの開発と実証に 関する研究
本田純久・教授	長崎県		平成 28 年度長崎県生活習慣状況調査の集 計・分析

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
大西真由美・教授	非常勤講師（地域母子保健）	茨城県立医療大学
大西真由美・教授	非常勤講師（公衆衛生学）	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科
大西真由美・教授	非常勤講師（国際看護）	長崎県立大学